

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活環境部統計課

〔Ⅰ〕 おもな動き

【推計人口】 …… 12月

令和6年12月1日の推計人口 1,249,433人
世帯数 558,981世帯

参考：R2.10.1 現在国勢調査総人口：1,312,317人、
世帯数：558,230世帯

1. 推計人口

令和6年12月1日現在の推計人口は、1,249,433人で、前月（1,250,185）に比べ△752人となった。

市部では、長崎市（△336）、佐世保市（△126）などの11市で減少し、大村市（+72）、島原市（+43）の2市で増加した。

郡部では、東彼杵町（+20）、佐々町（+9）、波佐見町（+8）の3町で増加し、時津町（△23）、長与町（△19）などの5町で減少した。

自然動態は、出生数556人、死亡数1,577人で△1,021人、社会動態は、転入者数2,380人（県内転入を含む）、転出者2,111人（県内転出を含む）で、+269人となった。

2. 世帯数

令和6年12月1日現在の世帯数は、558,981世帯で前月（558,983）に比べ△2世帯となった。

（注）

・異動人口推計＝R2 国勢調査確定数＋住民基本台帳（転入、転出、出生、死亡）

【賃金・労働時間・雇用（30人以上）】… 10月

1人当たり現金給与総額	264,561円
対前月比	2.9%増加
対前年同月比	5.9%増加

1. 賃金

10月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額は264,561円で、前月に比べ2.9%増加し、前年同月に比べ5.9%増加した。

現金給与総額を定期給与（きまって支給する給与）と特別給与（特別に支払われた給与）に分けると、定期給与は259,017円で、前月に比べ1.8%増加し、前年同月に比べ6.1%増加した。

特別給与額は5,544円で、前年同月に比べ、141円減少した。

2 労働時間

10月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は151.2時間で、前月に比べ6.5%増加し、前年同月に比べ4.5%増加した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は140.1時間で前月に比べ6.3%増加し、前年同月と比べ、4.3%増加した。

所定外労働時間数は11.1時間で、前月に比べ7.8%増加し、前年同月に比べ6.7%増加した。

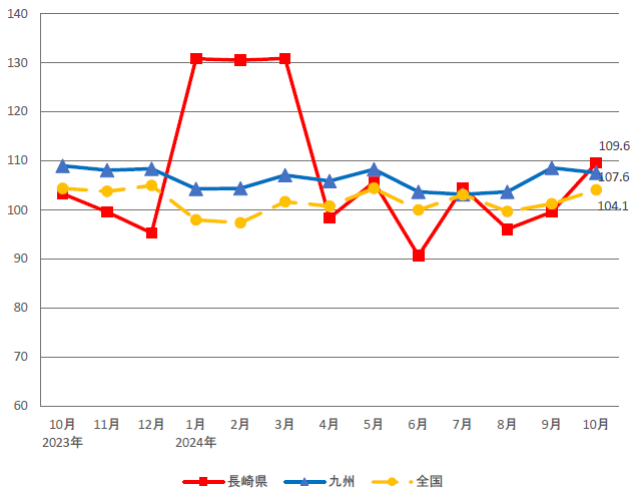
3 雇用

10月の常用労働者数は221,901人で、前月に比べ、0.5%増加し、前年同月に比べ4.7%増加した。

【鉱工業生産指数】……………10月
令和6年10月の鉱工業生産指数
(2020年=100)

区 分	季 節 調整済 指 数	前月比 (%)	原 指 数	前年同 月比(%)
長崎県	109.6	10.1	110.4	9.0
九 州	107.6	△0.9	115.0	0.5
全 国	104.1	2.8	107.8	1.4

鉱工業生産指数の推移【季節調整済指数】



2024年10月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が109.6で対前月比は10.0%の上昇、原指数は110.4で対前年同月比は9.0%の上昇となった。

業種別にみると、化学工業、電子部品・デバイス工業、電気機械工業など5業種が上昇し、鉱業、はん用・生産用機械工業、金属製品工業など8業種が低下した。

○主な上昇業種

業種	前月比 (%)	上 昇 に 寄 与 し た 主 な 品 目
化学工業	108.6	-
電子部品・デバイス工業	39.7	電子回路実装基板
電気機械工業	31.8	交流電動機

○主な低下業種

業種	前月比 (%)	低 下 に 寄 与 し た 主 な 品 目
鉱業	△53.1	-
はん用・生産用機械工業	△22.7	ボイラー
金属製品工業	△22.6	-

上昇業種、低下業種は全業種13業種から選定している。

寄与した品目については、主要業種7業種のみ掲載している。

(注)前月比は季節調整済指数の対前月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】……………11月
総合指数(R2=100) 110.0
対前月比 0.2%上昇
対前年同月比 3.1%上昇

長崎市の消費者物価総合指数は、2020年(令和2年)を100として、110.0で前月比0.2%の上昇であった。

主な上昇要因は「光熱・水道」の2.9%上昇、「家具・家事用品」の1.7%上昇であり、主な下落要因は「食料」の0.2%下落、「被服及び履物」の0.7%下落であった。

前年同月比は、7月は2.8%上昇、8月は3.1%上昇、9月は2.7%上昇、10月は2.5%上昇と推移した後、11月は3.1%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は109.1で前月比は0.5%の上昇であり、前年同月比は2.8%の上昇であった。

(前月との比較)

上昇した費目

光 熱 ・ 水 道	2.9 %
家 具 ・ 家 事 用 品	1.7 %
保 健 医 療	0.3 %
諸 雑 費	0.3 %
交 通 ・ 通 信	0.1 %

同水準の費目

住 居	±0.0 %
教 育	±0.0 %

下落した費目

被 服 及 び 履 物	△0.7 %
食 料	△0.2 %
教 養 娯 楽	△0.1 %

【家計(長崎市・勤労者世帯)】……………11月

消費支出(一世帯当たり) 323,301円
前月比 145,303円減少(△31.0%)

令和6年11月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は323,301円で、前月比31.0%の減少、前年同月比は0.5%の減少であった。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は84.4%であった。

(注)「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。